

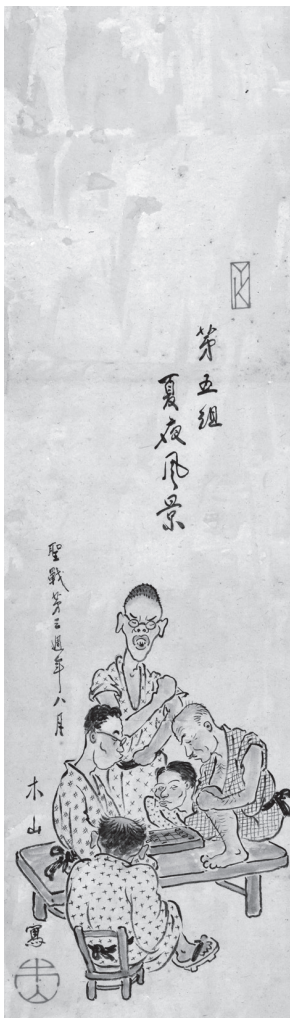


《無題（扇子を持つ女性像）》

年代不詳 油彩、カンヴァス 159×90 cm

渡米中に描かれたと思われる大型の油彩画で、ヨーロッパの民族衣装風の女性が描かれている。帰国の際、カンヴァスを折り畳んで運んだのか、中央に折り目がついている。

日野町蔵



《第五組夏夜風景（風刺画）》

1943（昭和18）年 墨など、紙 111×32 cm

第五組とは、現在の根雨5区のこと。近所同士で将棋に興じているひとこま。当時を知る人によれば、それぞれの表情が見事にとらえられているという。

日野町蔵



《無題（デッサン）》

年代不詳 木炭、紙
61×41 cm 個人蔵

《主従相似（風刺画）》



年代不詳 墨など、紙
25×36 cm 個人蔵

茶屋旅館の主の緒形氏。ヤギを飼っており、また風貌がヤギとよく似ていたため、「ヤギじいさん」と呼ばれていたという。



◆小早川秋聲《山中鹿之助三日月を拝するの図》

1902（明治35）年ごろ 紙本着色 130×73 cm
日野町蔵

戦国時代の出雲尼子氏の家臣、山中鹿之助が、三日月に向かい「我に七難八苦を与えたまえ」と祈ったという逸話を描いたもの。秋聲17歳ごろの作品。

小早川秋聲、小早川好古など、
町にゆかりのある芸術家作品展も



◆小早川好古《花鳥図》

年代不詳 屏風絵（二曲一隻）
179×186 cm 日野町蔵

▼となりのヘンリー 木山義喬展 記念講演

海を渡った漫画家、木山義喬



【講師】日本文化・漫画研究家

フレデリック・L・ショットさん
(アメリカ・サンフランシスコ在住)

この度の木山義喬展を記念し、11月3日、アメリカ・サンフランシスコ在住の日本文化・漫画研究家で、義喬の代表作『漫画四人書生』の英語版をアメリカで出版した、フレデリック・L・ショットさんが『海を渡った漫画家、木山義喬』と題し、義喬の功績、漫画四人書生の魅力などを話しました。

会場となった町文化センターには町内をはじめ、県内外から合計およそ180人が訪れ、軽

快な日本語での講演に聞き入りました。

容易ではなかった 英語版の出版

ショットさんと「漫画四人書生」との出会い、1980年ごろ。カリフォルニア州立大学バークレー校の図書館で初版本を見つけたのが初めだといいます。「読んでいくうちに、一話が12コマの全52話、舞台はサンフランシスコであることが分かりました。登場人物は英語名を

今回、風刺画を見て、墨絵や字の上手さに感動。
義喬は私にとって「ヒーロー」です

名乗る四人の日本人移民。そして、セリフは日本語と英語が入り交っている。このような変わった漫画はほかにはない」と魅力を語ります。

1989年、念願だった英訳の機会を得ますが、「今はインターネットが普及し、なんでも調べることができるが、当時は容易ではなかった。米子市美術館に資料があることが分かり、電話をすると、職員さんが義喬の子孫と知り合いということで直接会う機会を得た」とショットさんはいきさつを説明。「来日して娘の木山秀子さんと夫の輝章さん、孫の章子さんと会い、義喬の写真を見せてもらって、初めて彼がどんな顔なのか分かりました。また、大変なデッサン力を持った人物だと分かった」と当時の喜びを話します。

また、明治時代の日本語表現の英語訳に苦労しただけではなく、アメリカ人が読みやすいよう会話の流れに合わせ、絵を反転させたと振り返りました。

忠実な歴史を描いた 貴重な資料の一面も

さらに、もう一つ、漫画四人書生の魅力は、「漫画でありながら、ほとんどが実話。実際の

出来事が描かれ、背景の建物などは当時のもので貴重な歴史資料と言える。今でも存在する建物の位置から、場所が特定でき、非常に生の歴史で研究する価値があるもの」と強く訴えます。しかし、アメリカではごく一部の人にしか認知されていないそうで、これから期待されます。
洋画家の顔以外に、墨絵や字の上手さに感動

講演では、物語が起こった場所を地図に表記したり、写真を使って、サンフランシスコ内のゆかりの場所を紹介するなど和やかな雰囲気の中で行われました。

会場から「漫画四人書生は誰のために描かれたのか」「冊数はどれくらい出版されたのか」といった質問が投げかけられると、ショットさんは「英語と明治時代の日本語表現が入り交じり、友人のために描かれたものでしょう。冊数はおおよそ1000部くらいでは」と丁寧に回答しました。

また、今回の展覧会については「風刺画は初めて見ました。墨絵や習字が上手。感動しました。私にとってはヒーロー」と満面の笑みを浮かべました。